

舞鶴市に 国内最 大規模 パーム油発電所 計 画

舞鶴市高多地区の舞鶴港の一画
バーム油を燃料とする国内最大規模
バイオマス発電所の建設が実現され
ています。専門家は、バーム油燃
る電気は温室内効果ガスを大量に供
給するため再生可能エネルギーとして
評価されています。また、燃焼するこ
とで生じない二酸化炭素の排出量を
減らす効果があるとされています。
が上がっています。

インドネシア
から燃料輸入
事業者は、再生可能
エネルギーの開発・投
資などをめざす力の方々
による「舞闘グリーン」。
2020年6月に創立。
イニシアチブ合同会
社は、既存電源設置の
運営・運営保有の設計・
選定などに参画するもの
のです。出力は、一般家庭
庭園灯や世帯分布に適応
する形で、発電・販売して
いる電気は「再生可能電

温室効果ガスを大量排出
環境保護団体が見直し要望
西舞鶴港の一画、民家も近接

西游记·西游记·西游记

し、22年11月から商用運転を開始する予定で、バーム油はインドネシアから船で発電所に運ばれてきます。年間約12万tの油を使ふ用する方法です。この発電方法をめぐらでは、顧客となる大手商業施設や農業開拓団体、プラヤシの農業開拓団体が採用していることや、民間誰もが輸送にともなう燃料消費量が増加していることなど、大量的燃費削減効果などを挙げています。これが、効率ガスを排出するのにが識者や環境保護団体と指摘されています。

環境面
のいたバ
くした。た
ます。

によらず一律であるため大規模な事業ほど有利なのです。

ト「未満の発電が増え始めています。」
宮城県気仙沼市では、震災復興を目的に、地域の森林資源を活用した木質ガス化発電が行

を担当する機能エネルギーと云ふことはや
めべきだ。

バーブ油は必ず開運
で、取扱いやすい。
が非
能動的です。す
そのため、取扱いタフ
化を目的にした企業参
入につながっています。
また、大規模な開拓
計画が進むられる背景
によれば、国内の固定価格販
売制度(1-1)の確立も、
取り制度です。当初、買
い取り価格が発電規模
価格が設定され、



規模の発電所設置が計画されている
予定地。奥には住宅地が広がる
(舞鶴市喜多)



日本環境学会
元会長
和田 武さん

「再生エネ」とは言えない